

世の中が少しずつ動き始めました。

文責 学校長



～春の甲子園（センバツ大会）も開幕。ただ第7波の心配も～

1 吹奏楽部の定期演奏会を開催しました。

昨日（3月21日）、吹奏楽部の定期演奏会が武雄市文化会館で行われました。コロナ禍のため、昨年度に引き続き人数制限での開催となりましたが、多くの皆様にご鑑賞いただきました。開催にあたり、広告掲載にご協力いただいた会社・企業・店舗等の皆様、ご理解・ご協力誠にありがとうございました。また、開催を支えていただいた3年生やOBの皆様にも感謝申し上げます。



2 進路講演会を行いました。

3月15日（日）に1・2年生を対象に「進路講演会」を開催しました。講師に河合塾の毛利美佳先生をお迎えして、「夢の実現に向けて～受験生を始めよう～」（1年生）、「現役合格に向けて～現役生は最後まで伸びる！」（2年生）というタイトルで最新の大学入試情報や効果的な学習法、模試の活用法から「現役合格に向けて」の今後の学校生活のあり方、受験生としての心構え、合格の3つのポイントなどについても話していただきました。

3 今週の名言・・・イマヌエル・カントの言葉です。

理論のない経験は盲目である。しかし、経験のない理論は単なる知的ゲームに過ぎないのだ。言葉は思想とともに発達する。言葉がはっきりしないのは思想がはっきりしないからである。



【解説】哲学者イマヌエル・カントは、大学教授として自身の研究だけをしていただけではなく、学生の教育に対してもとても熱心な教授だったそうです。上記の言葉にあるように、彼は頭の中で考えるだけでなく、実際に実証し体験する事を大切にしていました。彼が規則正しい生活を徹底していたのもまた、自分の思想の検証だったのかもしれない。私たちも普段生きていて「言葉」というものを使わない日は滅多にありません。プレゼンなどでも、わかりやすく、相手の心に残るように伝えることが求められます。「本当に伝えたい」という気持ちがないと、なかなか相手には伝わらないものです。ましてやその際に自分の思考と伝えることの価値観が一致していないと、その伝えたいという気持ちは湧いてきません。本当に心に残る「伝える」ということはただの情報を伝達することではなく、自分の思想や感情に情報を乗せて送り出すこと。カントの言葉はそのことを教えてくれているようです。（参考：「STUDY LANGUAGE ことばをまなぶ」より）

【カントについて】イマヌエル・カントは、プロイセン王国（ドイツ）の哲学者であり、ケーニヒスベルク大学の哲学教授であった。『純粋理性批判』、『実践理性批判』、『判断力批判』の三批判書を発表し、批判哲学を提唱して、認識論における、いわゆる「コペルニクス的転回」をもたらした。（参考：「Wikipedia」より）

4 今週の話事成語・・・「胡蝶の夢」【問題】英語で表現すると？

自分ともとの区別がなくなって、全てのものが一つのものとする万物一体の境地のこと。または、人の生がはかないことのとえ。または、夢と現実の境がはっきりと区別できなくなること。荘子が胡蝶になって遊ぶ夢をみて、目が覚めると夢で胡蝶になったのか、胡蝶が夢をみて自分になったのかわからなくなったという故事から。（出典：『荘子』「齊物論」より）

【由来】「荘周之夢」、「夢に胡蝶となる」とも言う。中国の思想家である荘子は、あるとき自分が蝶になった夢を見ました。花から花へ飛び回るのがとても楽しく、飛んでいる間は自分が人間の荘子であることは忘れていました。しかし夢から覚めると、自分はもう蝶ではありませんでした。そこで荘子は、「はてさて、夢で荘子である自分が蝶になっていたのか、それとも本当の自分は実は蝶で、夢の中で荘子になっているのか？ 荘子と蝶はもちろん別の存在ではあるが、お互いに変化できるものなのだなあ。」と考え込んだといひます。

5 入試によく出る漢字(その24)・・・センターテスト(1995年度)の漢字に挑戦！

- (1) 草木が移シヨクされる状態に似ているように・・・〔①友人の言葉にシヨク発される。②室内の装シヨクを一新する。③着シヨク加工した食品がある。④定年後もシヨク託として勤める。⑤シヨク民地が独立国家になる。〕
- (2) 極端にビ細な感覚と化して・・・〔①学校の設ビを充実する。②人情の機ビを解する。③刑事が犯人をビ行する。④耳ビ科の医院に行く。⑤ビ観を損なう建物がある。〕
- (3) 言葉は幾ソウとなく積み重なった過去の・・・〔①車ソウの景色に見とれる。②世代間の考え方に断ソウがある。③浴ソウに付いた汚れを取る。④機械のソウ作は誤ると危ない。⑤街のソウ音も公害になる。〕
- (4) 一つの輪カクをもつ存在にすぎない・・・〔①外カク団体に出向する。②カク調の高い詩を読む。③綿密な計カクをたてる。④患者を別室にカク離する。⑤ときどき錯カクを起こす。〕
- (5) 生活体系の総体に優に匹テキしている・・・〔①脱税をきびしくテキ発する。②警テキを鳴らして車が走る。③悪い予感がテキ中する。④競争相手にテキ意をいたく。⑤病院で点テキを受ける。〕

6 今週の一冊・・・門井慶喜の『東京の謎』(文春新書)です。

維新直後の銀座は寂れていた。岩崎弥太郎と巢鴨、五島慶太と渋谷の秘められた関係。サンマならぬビールがなぜ目黒(恵比寿)だったのか。ピカチュウが町田出身のクリエイターから生まれた理由。日本の首都「東京」をめぐる23もの「謎」を、博覧強記の作家が解き明かす。(参考:本書裏表紙解説より)

【解説】『家康、江戸を建てる』『東京、はじまる』の著者で、江戸・東京に深い造詣をみせる「東京マスター」こと門井慶喜氏が、東京の21の地域について過去と現在とを結び、東京の「謎」を解き明かします。回を追うごとに東京と町を築き上げてきた巨人たちとの交差が描き出されます。4月から東京の大学に進学する3年生、将来東京の大学を志望する1・2年生にお薦めの一冊です。冒頭で紹介している2冊もぜひ読んでみてください。京都から大阪、さらに歴史の舞台が江戸に移り、徳川家康がいかんして江戸の町づくりに着手し、そして明治維新で東京の町へといかんして変貌していくかが歴史的背景とともに面白く興味深く語られていきます。この3冊で東京の町を「ぶらタモリ」したくなりそうです。

【作者・門井慶喜について】1971年群馬県生まれ。2003年「キッドナッパーズ」でオール讀物推理小説新人賞を受賞。16年『マジカル・ヒストリー・ツアー』で日本推理作家協会賞(評論その他の部門)を受賞。18年『銀河鉄道の父』で直木賞を受賞。



7 世界遺産を巡る(海外編)・・・第49回はフィレンツェ歴史地区(登録:1982年)

【解説】「フィレンツェ歴史地区」はその名の通り、イタリアはフィレンツェにある世界遺産。1982年に登録されました。フィレンツェの街は15～16世紀にかけてメディチ家庇護のもと、経済・文化的に繁栄し、ルネッサンスの中心地となり、その芸術を今でも見ることができます。フィレンツェには歴史的建造物が多くあり、ボッティチェリ、ミケランジェロといった名だたる芸術家たちによる貴重な名作が数多く残されています。フィレンツェの芸術振興・保護活動の精神は今なお健在であり、「屋根のない博物館」と言われるほど、街全体の芸術性が高いことで有名です。至るところで、歴史的建造物や美術品の数々が、街を飾り、街の語源となった花の女神フローラの街にふさわしい華麗な印象を訪れた人に与えます。(参考:『世界遺産人気ランキング』より)



8 街角グルメを訪ねて・・・第49回は神埼町の「Boulangerie こなぎパン」です。

先週紹介した「ほたる」の帰り道に立ち寄ったパン屋を紹介します。西九州大学の傍にあるので、西九州大学生御用達の店かもしれません。国産小麦や天然酵母にこだわったハード系のパン屋と聞いていたので寄ってみました。「お子様からご年配の方まで食べやすいハード系を目指しています。」というコンセプトのお店で、ハード系のパンが好みの方にはオススメです。店名の「こなぎ」は、パンの材料である小麦と奥さんの渚さんの名前の響きが「似ている」と知人に言われたことから、「こむぎ」と「なぎさ」を組み合わせて名付けたそうです。野田さんご夫婦は伊万里や三瀬村でパン作りや菓子作りの修行を経て、現在のお店をオープンされたとのこと。この日はナッツやフルーツを練りこんだハード系パンを3つ購入しましたが、いずれも美味でした。最近では、鳥栖の「クリーブラッツ (kIEE BIAtt)」をメインに、三養基の「ウエストヴィレッジ (WEST VILLAGE)」とこのお店3店を梯子して買って帰るのが、我が家の定番になりました。営業時間は9時～19時。日曜定休です。住所は神埼市神埼町尾崎3782-15です。



9 保護者の皆様へ・・・武高生の取り組みがケーブルワンで放映されます。

コロナ禍にありながらも、武雄高校生が主体的に取り組み、参加した①「たけおっ子フェスタ」②「武雄市歴史シンポジウム～実はすごいぞ武雄の歴史～」の両イベントが編集され、番組としてケーブルワン(Cable One)で下記のスケジュールで放映されることとなりました。武雄市とコラボした学習の成果の一部です。子どもたちの活躍を是非ご覧ください。

【放送予定】

①23日(水)・27日(日) 10時～12時、16時～18時

②26日(土)・28日(月)・30日(水) 10時～12時、16時～18時



【英語】◇ The Butterfly Dream ◇ I was a butterfly in a dream once.

【正解】(1)植〔触・飾・色・囁・植〕(2)微〔備・微・尾・鼻・美〕(3)層〔窓・層・槽・操・騒〕(4)郭〔郭・格・画・隔・覚〕(5)敵〔摘・笛・的・敵・滴〕